

異文化データベース枠組み

国名	ラオス人民民主共和国 (Lao People's Democratic Republic)			
主要な言語	ラオス語 67.2%、クメール語16.5%、タイ語7.8% その他 [1]			
人口学的データ	総人口 (人)	7,232,637 (2019) [2]		
	15歳未満人口割合(%)	32.8 (2018)[3]		
	65歳以上人口割合(%)	3.9 (2018)[3]		
	平均寿命 (歳)	64.6 (2018)[3]		
	5歳未満児死亡率 (出生千対)	63.9 (2016) [4]		
	妊産婦死亡率 (出生10万対)	197 (2015) [5]		
	中等教育就学率 (%)	男性	69% [6]	女性
主要な死因	1位 脳卒中 2位 冠動脈性心疾患 3位 下気道炎 4位 新生児障害 5位 交通事故 (2017) [8]			
主要な民族	Lao-Tai (68%), Mon-Khmer (22%), Hmong-Lu Mien (7%) and Sino-Tibetan (3%)% (全49民族) [9]			
主要な宗教	仏教 (64.7%), キリスト教 (1.7%), 無宗教(31.4%), その他 (2.1%) [3]			
日本在留外国人構成比	2988人 (0.09%) (2018)[10]			
文化社会的特徴				
1. 特徴的な価値観・行動	女性には特別な配慮が必要である (タッチングなど)。女性は女性医師を好む。僧侶は男性医師を好む。			
2. 重要な意思決定にあたって留意すること	本人の意識がない場合など、家族のみが意思決定する。手術など家族の同意が必要である。			
3. 食文化	ラオスは稲作文化、米文化である。主食はカオ (米) で、特に多くの人がかオニャオ (低アミロース米、もち米) を好む (ニャオは粘るという意味)。カオニャオ (もち米) は、やや冷めた状態で竹かご (ビニール袋のこともある) に入れて出てくるので、右手で一口分をつかんで丸めておかずをすくったり浸したりして、おかずの味と共に食す。[11]			
4. 衛生に関する価値観	健康教育を実施しても、衛生状態を気にしない人が多く、感染しやすい。特に田舎の地域で水道がない場合など。 歯磨きは1日2回 (朝と寝る前) で昼は行わない。			
5. 受療および病人のケアに関する価値観・行動	都市部で収入の良い職業を持っている場合以外は、保険を持っていない人が多い。保険がない場合は、かなり重症になってから、あるいは緊急の場合しか受診しない。代々家業を受け継いでいる witch doctor がおり、正規の教育を受けていないが、安いので、病院ではなく、witch doctor を受診する人が多い。病状が改善しないで重症になって初めて病院を受診し、手遅れになることが多い。			
6. 妊娠・出産に関する価値観・行動	民族によっては、妊娠中のケアを受けずに自宅で出産している場合もまだある。産後少なくとも1週間シャワーを浴びない。褥婦は産後2-3週間は、炭火の入ったベッドの上で安静にして、湯を飲み、伝統的薬を飲み、肉は食べない。理由は分からないが、昔から行っているという理由で実施している。都市部のマンションでは炭火の入ったベッドを入れるのは困難なので、行っていないことが多いが、田舎の地域ではまだ実施している。			

7. 育児に関する価値観・行動	基本的に生後6ヶ月までは母乳を与える方針である。授乳後乳児の口を水できれいにする。 学校から遠い場合は、子どもたちに小学校に行かせず、家事の手伝いをさせ、ラオス語も話せない場合が多い。
8. 高齢者に関する価値観・行動	子どもは両親の世話をしなければならない。大家族で一緒に住んでいる場合が多い。高齢者ケア施設は一般的ではない。
9. 終末期・葬儀に関する価値観・行動	多くの人は自宅で終末期を迎えたいと思い、病院に入院していても自宅に戻ることを希望する。葬式は通常お寺で行う（火葬）。灰はお寺や自宅に保存する。子どもが意思決定する。
10. 本国の医療職・医療サービスに関する特徴	(伝統医療を含む) 医療従事者は多数の患者のため、長時間の診療を行っている。医療従事者の+B25:F27不足のため、田舎の地域までケア提供が行えていない。田舎など医療機関がない場合はWitch doctorに診てもらおう。 私立クリニックの料金は高いが、あまり待たなくても良い。しかし、専門クリニックがそれぞれ独立しているので、自分で探して行かなければならない。私立クリニックを受診後、手術など必要に応じて大病院に紹介される。公的病院の方が安い長時間待たなければならぬ。タイやベトナムの方が医療の質が良いのでそちらに行く場合も多い。 ラオス語も話せない人々に対しては、ラオスの医療者でも健康指導や病院受診時の問診などコミュニケーションが非常に困難である。
11. その他の保健医療に関する特徴	ワクチン接種率はまだ低い。母子死亡率は高い。衛生状態が悪い（汚染された飲料水、食中毒）。感染症（結核）、熱帯病（マラリア）が多い。
12. 教育制度	小学校： 5年 中学校： 3年 高等学校：3年 大学： 4年（医学部と歯学部は6年） 専門学校：2年 修士： 1年 博士： 3年 [12]
13. その他の特徴	蚊を避けるために家で蚊よけネットを使用する。

14. 参考文献	<p>[1] World Data Laos https://www.worlddata.info/asia/laos/index.php</p> <p>[2] Laos Population https://countrymeters.info/en/Laos</p> <p>[3] Laos Demographics Profile 2018 https://www.indexmundi.com/laos/demographics_profile.html</p> <p>[4] Laos - Mortality rate, under-5 (per 1,000) https://tradingeconomics.com/laos/mortality-rate-under-5-per-1-000-wb-data.html</p> <p>[5] Laos Maternal mortality rate https://www.indexmundi.com/laos/maternal_mortality_rate.html</p> <p>[6] Laos - School enrollment, secondary, male (% gross) https://tradingeconomics.com/laos/school-enrollment-secondary-male-percent-gross-wb-data.html</p> <p>[7] Laos - School enrollment, secondary, female (% gross) https://tradingeconomics.com/laos/school-enrollment-secondary-female-percent-gross-wb-data.html</p> <p>[8] IHME Laos http://www.healthdata.org/laos</p> <p>[9] WHO Lao People's Democratic Republic – Country Profile http://www.wpro.who.int/laos/about/lao_country_profile/en/</p> <p>[10]法務省 在留外国人統計 第1表の2 国籍・地域別 在留資格(在留目的)別 総在留外国人 http://www.moj.go.jp/housei/toukei/toukei_ichiran_touroku.html</p> <p>[11] ラオス料理 http://jp.ndish.com/world/laos/</p> <p>[12] Education System in Laos https://www.scholaro.com/pro/Countries/Laos/Education-System</p> <p>参考) Ministry of Health (unfortunately all in Lao) https://hmis.gov.la/lao/#/5?_k=w0yq01</p>
----------	---

担当者：近藤暁子（東京医科歯科大学大学院）
承認日：2019.3.29